

2005年9月29日

当社グループにおけるアスベスト（石綿）製品の製造状況等について（追加報告）

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社（本社：東京、社長：門松正宏）は、7月26日にアスベスト（石綿）に関するその時点までの当社グループの状況についてお知らせ致しました。その後の当社グループ内での継続調査の結果、新たに確認された情報等について、以下の通りご報告致します。

1. アスベスト製品の製造状況

今回新たにアスベスト製品であることが判明しました製品も含め、当社グループが過去にアスベストを原料として使用し製造した製品の状況は次の通りです。なお、いずれの製品も既に生産停止あるいは代替化（無石綿化）を実施しています。

会社名	製品	製造期間
旭硝子株式会社	窯業系外装建材 ¹	1981年～1995年
	不定形耐火物 ²	1975年～1988年
	吹付け耐火被覆材 ³	1973年～1975年
旭硝子ポリウレタン建材株式会社	建築用エポキシ塗料他	1976年～2000年
旭硝子マテックス株式会社	FRP精密成形品 ³	1974年～1981年
日本プライブリコ株式会社	軽量キャストブル ³	1965年～1983年
旭硝子コートアンドレジン株式会社	内・外壁用塗装材 ³	1973年～1999年
位登産業株式会社	セメント混和材原料 ³	1965年頃～1980年頃

1：窯業系外装建材事業については、2004年12月に、会社分割により旭トステム外装（株）に承継

2：セラミックス事業（不定形耐火物を含む）については、2002年4月に、会社分割により旭硝子セラミックス（株）に承継

3：今回新たにアスベスト製品であることが判明した製品

2. 元従業員の方々の健康診断

当社在籍中にアスベスト取扱い作業に従事されていたか、またはアスベスト使用職場に在籍されていた元従業員の方々を対象に、健康診断を実施します。

以上

本件に関するお問い合わせ先：旭硝子(株)広報・IR室長 川上 真一

（担当：齋藤 TEL:03-3218-5509、Email:info-pr@agc.co.jp）